

平成3(1991)年9月18～19日 台風第18号による大雨

概況

平成3年9月本州の南海上を北北東に進んでいた台風第18号は、19日17時頃八丈島付近を通過し、同日21時には銚子沖を通過して日本の東海上へ進んだ。この台風の接近に伴い、本州の南岸に停滞していた秋雨前線の活動が活発となり、愛知県では18日から19日にかけて100～300mmの大雨となった。名古屋でも19日の日雨量が観測開始以来第2位(1891年から1991年までの観測記録)の217.5mmを観測した。

この大雨により、大府市の中学生が通学途中で橋の上を越えて流れてきた濁流に流され水死し、知多郡美浜町では山崩れにより家屋が倒壊し生き埋めとなり死亡した。さらに、天白区为天白川支流の扇川と大高川、また北区の新地蔵川支流の境川と生棚川、瑞穂区の山崎川で溢水、春日井市では庄内川支流の内津川の堤防が決壊し、浸水による住宅被害が多く発生した。

気象官署観測記録 (平成3年9月18日～19日)

観測所	総降水量	最大日降水量	最大24時間降水量	最大1時間降水量
名古屋	242.0 mm	217.5 mm	231.5 mm	62.0 mm
期間	9月18日00時 ～ 19日24時	9月19日	9月18日13時 ～ 19日13時	9月19日06時10分 ～ 07時10分

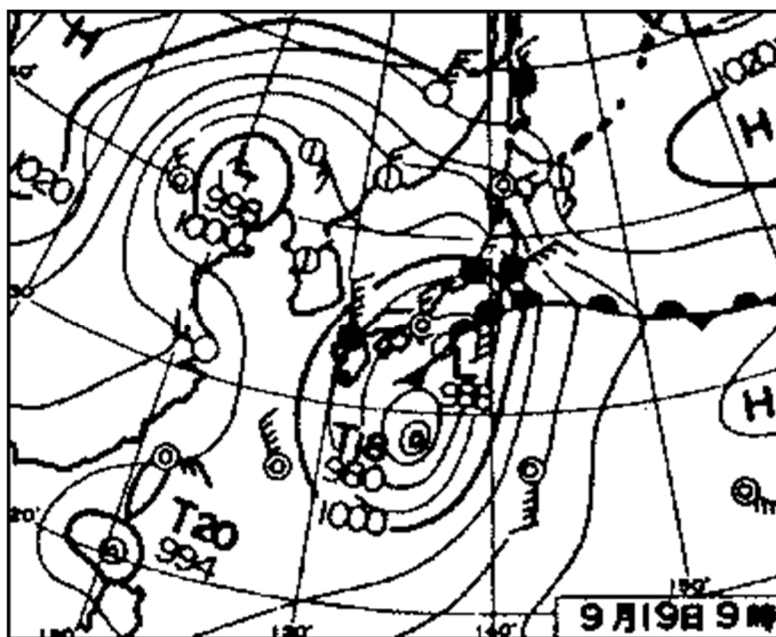
上記表での値は、観測開始(1891年)から2001年(平成13年)12月31日までの期間では、日降水量:第3位、最大24時間降水量:第3位、最大1時間降水量:11位となる。1位はいずれも、平成12年9月11日の東海豪雨である。

愛知県被害状況 (愛知県:災害の記録、災害別被害状況から)

人的被害	死者 (人)	2	その他	河川 (箇所)	222
	行方不明 (人)			砂防 (箇所)	
	負傷者 (人)	1		道路 (箇所)	594
住家被害	全壊 (棟)	2		橋りょう (箇所)	11
	半壊 (棟)			港湾 (箇所)	
	一部破損 (棟)	9		崖くずれ (箇所)	81
	床上浸水 (棟)	3713		鉄道不通 (箇所)	5
	床下浸水 (棟)	12131		田畑流失埋没 (ha)	19
非住家 (棟)	185	田畑冠水 (ha)	1742		

地上天気図(平成3年9月19日09時)

台風18号の北上に伴い、南岸に停滞する秋雨前線の活動が活発となった。



雨量分布図(平成3年9月18日00時~19日24時)の総雨量

多雨域(240mm)は知多半島から名古屋市周辺の北東側にのびる地域と愛知県東部の静岡県境地域があり、知多半島の先端では300mmを越える雨量となった。

